

養父市立建屋小学校

令和3年度 学校評価

(学校自己評価・学校関係者評価)

1 本年度の学校教育目標

ふるさとを愛し、自ら学び、未来に挑戦する建屋っ子の育成

2 本年度の学校重点目標

めざす子ども像(地域の未来に貢献できる子)	○学ぶことの大切さ、楽しさを知り、自ら学ぶ子(知) ○自分の思いを伝え、人の思いに耳を傾け、よりよく生きようとする子(徳) ○自分の心と身体を知り、健全に生きようとする子(体)
めざす学校像(児童・教職員・保護者・地域がつながる学校)	○子どもの夢と志の実現を支える学校 ○一人一人が大切にされ、安全・安心な学校 ○一人一人が大切にされ、安全・安心な学校 ○保護者や地域と共に歩む信頼される学校
めざす教師像(地域の担い手と地域を育てる教師)	○使命感、教育愛に満ち、児童の良さや可能性をのばす教職員 ○人権感覚に優れ、子どもとともに学ぶ教職員 ○自らの資質能力と実践的指導力の向上を図り、児童・保護者・地域から信頼される教職員
期待する家庭像(地域の方とともに地域の担い手を育てる家庭)	○親子で目標を決め、目標に向かって努力する家庭 ○家族同士で「あいさつ」を交わし合う家庭 ○基本的生活習慣を身につける家庭 ○学校や地域の行事に進んで参加・参画する家庭
期待する地域像(児童と学校とつながる地域)	○学校の重点目標を共有し、共に進める地域 ○子どもの安全・成長を見守る地域 ○地域行事に子どもたちが参加・参画する地域 ○学校教育・家庭教育を支える地域 ○学び続ける大人がいる地域

4 総合的な学校関係者評価

小規模特認制度を活用している児童が増え、保護者アンケートでも、「学校は保護者の期待に込めている」との項目での肯定的な回答がほとんどで、良い学校づくりが行われている。

オープンエレメンタリースクールへの3歳児・4歳児の参加もあり、来年度以降の入学に向けての見学であり、小規模特認校制度の継続に向けてのプラス材料であると考えている。

職員アンケートや保護者アンケートで、全体には高い評価ではあるとはいえ、前年度より下がった項目があることから、分析を行い、より一層、素晴らしい学校づくりに向けて取組を進めていっていただきたい。

3 学校自己評価結果 (A 優れている B 良い C おおむね良好 D 要改善)

分野	評価項目・取組内容	達成状況	学校の取組状況・改善の方策
学校運営	○「地域とともにある学校づくり」が推進できたか。 ○小規模特認校として、特色ある学校づくりが推進できたか。	A	○学校運営協議会と連携し、学校運営を行った。 ○5歳児対象のオープンエレメンタリースクールを実施し、多くの参加を得た。 ○学校参観希望者に対して、授業参観を随時実施した。 ○就学前幼児の英語教室E-parkを三谷校区自治協議会・建屋校区自治協議会の主催で実施し、多くの参加者を得た。 ○イングリッシュマラソンをPTAや地域の協力を得て実施した。 ●地域と連携した取組の推進のための先進校視察が新型コロナウイルス感染症の流行により実施できなかった。
家庭・地域との連携	○電話や家庭訪問、学校だより、HP、学級通信等で児童の様子を伝えることができたか。 ○オープンスクールなどで参観の機会を持てたか。 ○地域の人材を教育活動に活用することができたか。 ○家庭と連携して「そうあくんの日」を推進し、主体的な児童の育成に努めたか。	A	○自治協だよりの紙面を提供いただき、「建屋小トピックス」を掲載した。HPの随時更新、学校だより・学級だよりを発行を通して、家庭へ学校の様子を伝えた。また、怪我やトラブルなど、学校の様子について家庭連絡を速やかに行った。 ○オープンスクールを実施し、保護者や地域はもとより広くしないから来校者を得た。 ○学年ごとに地域探検・社会見学を実施。地域の方を講師に招いた地域学習講演会を実施した。 ○「そうあくん日記」を通して、家庭と連携した自学自習を推進した。 ○PTAとの共催による「親子講演会」を実施した。
学習活動	○児童一人一人のニーズに応じたきめ細やかな指導ができているか。 ○基礎基本の定着が図られているか。 ○コミュニケーション力の育成は図れているか。 ○表現力の育成は図れているか。 ○児童の主体性は育っているか。 ○地域を学ぶ、地域で学ぶ学習が進められているか。	B	○兵庫教育大学大学院 吉田教授に指導を受け外国語学習の授業研究を推進した。 ○5校時前の15分間を活用した「たきのやTime」に、ドリル学習・百人一首、ALTによる英語ゲーム活動を行った。 ○県立ピッコロ劇団の指導による演劇「ふるさとたきのや物語」を上演し、参観者から高い評価を得た。 ○「やぶがんぱりタイム」を活用した個別指導、児童の課題に応じた学習活動など、基礎学力の向上に努めた。 ○夏季休業中、学校と家庭をつなぐオンライン登校日を実施するなど、「GIGAスクール構想で導入されたタブレットの活用を図った。 ●学びの楽しさが感じられる学習活動に向けて、より一層の教材研究・指導の工夫を図っていく。
生徒指導	○児童が安心して学べる学校になっているか。 ○児童が生き生きとした学校生活を送っているか。 ○児童の生活や心身の健康について適切に取り組み、家庭・地域と連携した子育ての取組を進めているか。	B	○生活アンケートですべての児童が「学校が楽しい・少し楽しい」と回答している。 ○生活指導委員会・生活研修の月1回の定期開催や職員朝会や職員会議で児童や学級の状態の共通理解を図った。 ○いじめやトラブルへの迅速な組織的対応を行った。 ○オープンスクール等の来校者から、児童は楽しそうに学習に取り組んでいるとの感想が多く寄せられた。 ●児童間トラブルについての保護者の不安を減らすための情報提供や家庭と連携した支援を進めていく必要がある。
小中一貫教育	○小中9年間を見通した学習指導・生徒指導を進めているか。 ○小中の連携、小中の連携が図れているか。	B	○「しばふかのわ」(姿勢・板書・ふり返り・環境整備・ノート指導・話型)の共同実践と実践交流を図った。 ○前期①(小学1・2年)前期②(小学3・4年)中期(小学5・6年 中学1年)後期(中学2・3年)の4部会に分かれて、実践交流や情報交換を行った。 ○本校を会場に養父校区小中一貫授業研究会を実施した。外国語の公開授業を養父中学校教員と本校教員の複数指導により実施した。
教職員	○心温かい姿勢・言動で指導や対応に努めることができたか。 ○毅然とした厳しさを持ちながら指導に努めたか。 ○指導力向上に向けた研修に取り組んだか。 ○「ノー体罰」の実践ができたか。	A	○児童理解を大切に特別支援教育の研修を進めた。また、教職員間での情報交換や実践交流により指導力の向上を図った。 ○但馬小学校外国語研究会の実施やそれに向けての研究により外国語学習についての教職員のスキルアップを図ることができた。 ○地域の講師を招き、人権問題や地域の偉人についての教職員研修を行った。 ○体罰ゼロの継続が図られている。 ○教職員の心温かい姿勢・言動に保護者から高い評価を得ている。
勤務時間の適正化	○定時退勤日(水曜日)は実行できたか。 ○会議や研修の効率化、情報の整理などの業務改善は図れたか。	B	○毎水曜日に定時退勤を実施した。 ○すべての教職員が本校での勤務にやりがいを感じている。 ○出勤時に退勤予定時刻を明示することで、各自が計画的な勤務マネジメントを行っている。
感染症	○新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた学校運営ができたか。	A	○毎朝の健康観察、手洗いの励行、マスクの着用、フェイスシールドの活用を行った。 ○学校行事については、感染対策の呼びかけ、ソーシャルディスタンスの確保に努めた。 ○多くの保護者から適切な対応との評価を受けた。

5 評価項目に対しての学校関係者評価

学校自己評価の適切さ

保護者・地域と協働した学校づくりが行われていると考えている。地域としてもよりよい学校づくりに協力していきたい。

小規模特認校制度を活用して入学を希望されている保護者の中に、通学時間がネックで、入学を断念されて家庭があるとの事であった。地域としても、校区に居住していただけの体制づくりを検討していきたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症の流行により、オープンスクールや地区運動会が中止もしくは、保護者のみの参観になってしまったのは残念であった。秋のオープンスクールでの「ふるさとたきのや物語」の上演は、毎年のものであるが感動した。毎年、地域を題材に取り上げた演劇で、地域学習と連動していることを強く感じる。今後も県立ピッコロ劇団の指導を受け、建屋小学校の特色の1つとして、継続して行っていただきたい。

保護者アンケートに、「最近、理科の授業の話をよくしてくれました。興味を示す授業が行われているのがよく分かります」との意見があり、子どもたちが興味を持って学べるよう努力されていることが分かる。今後、一人一人の課題に対応した学びを進めていっていただきたい。

子どもたちが、学校は楽しいと思える学校づくりを進めていっていただきたい。さらに、保護者の安心に繋がるよう児童間トラブルの迅速で適切な対応を今後とも進めていっていただきたい。

職員アンケートでの「気軽に話したり、相談したりできる職場になっていますか」の項目が昨年度より下がっていることが気になる。下がっても高い結果ではあるが、特に若い先生が一人で悩んでおられることはないか、精神的に参ってしまわないか、心配りをお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症では、随分苦労を掛けていると思う。保護者からも適切な対応だとの評価を受けているので、継続した取組をお願いしたい。